

委員会審査

総務 常任委員会・分科会

国の補助金を活用した消防団への 林野火災用資機材配備の内容は？

Q 消防団の力向上モデル事業に係る国の補助金を活用し、消防団装備品として林野火災用資機材を購入するための経費として499万4千円を増額する補正予算が提案されているが、その詳細は。

A 消防団へ背負い式消火水のう等を配備する予定としており、用途としては、林野火災の際に燃え盛る火をポンプ車で消火した後、消防団員が水のうを背負って歩きながら放水し、残火処理に使用するものである。

Q 消防団への配備により、林野火災が発生した際の対応体制は整うのか。

A 今回の配備先は消防団だが、消防署においても同一資機材を所有しており、林野火災の際には消防団員だけが対応するのではなく、消防隊員と合同で林野火災の鎮圧に当たる体制を想定している。



林野火災に対応できる備えが重要である。
(写真：背負い式消火水のうを用いた訓練)

委員会で審査した議案

- 八尾市市税条例の一部改正の件
- 市営西郡住宅7号館外1棟解体工事の工事請負契約締結の件

その他議案2件

分科会で審査した議案

- 令和8年度八尾市一般会計第3号補正予算の件（所管分）

文教 分科会

長引く物価高騰に対応する支援策 市独自の給付等の内容は？

Q 今回実施する子育て世帯に向けた物価高騰対策事業の対象を、0歳児から1歳児の子育て世帯及び2歳児から5歳児までの在宅子育て世帯とした理由は。

A 子育て世帯への市独自の経済的支援として、中学校給食や2歳児保育料の無償化等を実施している状況を踏まえ、物価高騰の影響を特に受けている子育て世帯のうち、これまで支援が届きにくかった世帯を対象に給付を行うこととした。

Q 現金ではなく、デジタルクーポンで給付を行う理由は。



物価高騰の影響を特に受けている子育て世帯への支援として、2万円相当のデジタルクーポンを送付する。

分科会で審査した議案

- 令和8年度八尾市一般会計第3号補正予算の件（所管分）
- 令和8年度八尾市一般会計第4号補正予算の件

A 現金給付に比べ、銀行口座の申請及び振込など煩雑な手続等がなく、事務経費の削減や対象者の利便性向上を図ることができするため、デジタルクーポンによる給付とした。

Q 本事業を通じて、在宅子育て世帯のニーズをどのように把握するのか。

A ポイント交換と同時にスマホを用いたアンケートを実施する予定であり、今後の支援事業に反映できるように調査項目を検討していく。

建設産業 常任委員会

大阪広域水道企業団へ 新たに3市が統合する影響は？

Q 本市は令和7年4月に大阪広域水道企業団と事業統合しており、令和9年4月に泉大津市、箕面市及び門真市が新たに事業統合する予定だが、その影響は。

A 八尾水道センターの事務に変更はなく、会計も水道センターごとに分かれているため統合による財政縮減効果への影響はない。



水道事業の効率化や運営基盤の強化につながる広域化（市町村水道事業の統合）が進められている。

A 令和6年度末の数値を基にすると、府下全体の給水人口のうち16%を占める見込みである。

Q 市民の暮らしを守っていくため、上水道を担う八尾水道センタートと本市下水道部局の連携は欠かせないと思うが、今後どう変わるのか。

A 今後も引き続き、連絡を密に取合い、様々な情報共有をしながら事業を進めていきたいと考えている。

委員会で審査した議案

- 大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更及びこれに伴う大阪広域水道企業団規約の変更に関する協議の件
- 八尾市公共下水道事業の設置等に関する条例の一部改正の件

健康福祉環境 常任委員会・分科会

可燃ごみ等収集運搬業務委託拡大 今後の収集体制は？

Q 可燃ごみ等収集運搬業務について、大幅な債務負担が計上されているが、将来的にどのような収集体制をめざしているのか。

A 今後の収集体制については、委託によるコストメリットを検証するとともに、戸別収集や共同住宅の収集も含め、総合的な視点から検討していく。

Q 委託拡大により、職員の働き方にはどのような効果を見込んでいるのか。

A 休日勤務の縮減や休暇取得の促進など、職員の負担軽減を図るとともに、ワーク・ライフ・



委託拡大による効率化とともに、安全で安定したごみ収集体制の維持が期待される。

委員会で審査した議案・請願

- 大阪府後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議の件
- 国保料の引き下げと、国民健康保険料逃れに関する請願の件

その他議案1件

分科会で審査した議案

- 令和8年度八尾市一般会計第3号補正予算の件（所管分）



▶ 二次元コードから、すべての委員会の映像を見ることができます。